

## クラスの様子【2月号】

### ●ひよこ組 今月の目標 身のまわりのことに興味を持ち自分でやってみようとする。

新しい年を迎え、ひよこ組で過ごすのもあと2ヶ月程となりました。寒い日が続く中、体調を崩してしまう子もいますが、元気に登園してくると身のまわりの準備を自分から進んで取り組める子が増えました。お手拭きタオルをかけたり、エプロンを出したり、お家の方がやってくれる様子や、隣で身辺整理するりす組のお友だちのしていることをよく見えています。活動もうさぎ組のお友だちや幼児棟の大きいお友だちがお部屋に遊びに来てくれて交流をしています。そんな交流の中、目で見て学ぶ経験をたくさんしています。やってみたいと思う活力は、とても集中力を高めています。これからも大きいお友だちとの交流の中でいろいろな事に興味や意欲を持って取り組める環境を大切にしていきたいと思います。(矢下)



### ●りす組(もも) 今月の目標 身の回りのことを自分でやってみようとする。

1月は天気の良い日が多く、たくさん戸外で活動しました。お正月明けには、自分たちで作ったコマを回したり、凧を持って西の広場へ行き、たくさん走って身体を動かしてお正月遊びを楽しみました。お散歩ではいろいろな事に興味を持ち、空高く飛んでいる小さな飛行機もすぐに見つけて、「飛行機あったで」「あそこにあるよ」と教え合ったり、「またきてね～」とみんなで手を振ったりと、子ども同士の関わりや会話も多くなってきました。また生活面では排泄や着脱、身辺整理にも意欲的に取り組むようになり、難しくても諦めずに自分でやってみようとすることも増えてきました。食事の前、戸外から帰ってきた時には手を洗うという習慣も身に付けてきたようで、自分で袖をまくってゴシゴシと手洗いをしています。そんな子どもの頑張る気持ちに寄り添いながら、少しずつうさぎ組への移行に向けて子どもたちが安心して過ごせるように、一人ひとりのペースに合わせて進めていきたいと思います。(鈴木)



### ●りす組(いちご) 今月の目標 いろいろな友だちとの関わりを楽しみ、身の回りのことを自分でしようとする。

例年よりも暖かくお天気の良い日には子ども達の希望を聞き、お散歩や西の広場での活動を楽しみました。お部屋ではトイレから戻ってきたお友だちに対し「おかえり」と言ったり、午睡後は「おはよう」など子ども同士のやりとりを楽しむ姿が見られるようになりました。言葉だけでなく頭をペコっとして感謝を伝える姿もあります。また身辺整理や着脱など自分で出来ることも増えてきています。出来なくてもお友だちや保育士に助けてもらいながら一人ひとりのペースで出来た時の達成感や喜びを感じていけたらいいなと思います。4月からうさぎ組になる為、いろいろなお友だちとの関わりを楽しんでほしいと思い、ももグループのお友だちとの活動も取り入れています。移行に向けて子ども達が安心して過ごせるよう進めていきたいと思います。(黒田)



### ●赤うさぎ組 今月の目標 手洗いうがいをして風邪予防をする。・異年齢の雰囲気を楽しむ。大きいお友だちとの関わりを楽しむ。

寒さに負けずお外で元気に遊んでいます。「おにごっこしよ」「かくれんぼしよ」と活発です。外から帰ってきた後の手洗いうがいも前に比べて上手に出来るようになってきました。手洗いの歌を覚え丁寧に洗う姿が見られます。「みて！きれいになった？」とにこにこで見せてくれます。引き続き風邪をひかないようお外でしっかり体を動かしたり、手洗いうがいで予防をしていきたいと思います。さて、うさぎ組での生活も残り2ヶ月程となりました。異年齢のお部屋に遊びに行かせてもらったり、お外と一緒に遊んでもらったりしています。「おいしゃさんごっこたのしかったな」「れすとらんごっこうさぎさんといっしょやな」と話している子もいました。また、お外で遊んでいる時にトイレに行きたくて困っていると「いっしょにいつてあげようか？」と優しく声をかけてくれるお兄さんお姉さんがいて大きいトイレに行く回数も増えました。お兄さんお姉さんに声をかけてもらったり一緒に遊んでもらったりと嬉しそうです。少しずつ移行に向けて異年齢の雰囲気に慣れていけるよう進めていきたいと思います。(古川)



## クラスの様子【2月号】

●白うさぎ組 **今月の目標** 手洗いうがいをして風邪予防をする。・異年齢の雰囲気を楽しむ。・異年齢のお友達との関わりを楽しむ。

寒い日が続いていますが、元気いっぱいに登園して来てくれる子どもたち。1月は以上児クラスのお友達と一緒に散歩に出掛けたり、コーナー遊びに入れてもらったりと、以上児クラスと関わる時間を作ってきました。いつもは長時間姿勢の保持をするのが難しい子も以上児クラスの集まりに参加させてもらって上手に座っていたり、いつも行く散歩先でもお兄ちゃんお姉ちゃんが遊ぶ姿をじーっと見て真似をしたりとたくさん刺激を受ける姿がありました。クラスの友だちとゆっくり関わり落ちていて過ごせる時間を確保しながら、少しずつ幼児棟への移行を進めていこうと思います。また、生活習慣を見直し、自分で出来る事を増やしていけるようにひとりひとり見守っていききたいと思います。(真里亜)



●とちのき組 **今月の目標** 寒さに負けず元気いっぱい身体を動かして遊び体力をつける。(年少児)

1月は子どもたちの声を取り入れたり、一緒に考えたりしながら活動してきました。「2階に遊びに行きたい」「散歩に行きたい」「〇〇作りたい」などと子どもたちは色々な提案をしてくれました。感染症の流行などにより要望を叶えてあげられないこともありましたが、なるべく叶えてあげられるように心がけました。自分が“やりたい”と思うことを口に出せない子もまだまだたくさんいますが、友だちの意見に乗っかったり耳にするだけで、いつか言えるようになるのではないかなと思います。とちのき組での生活も1月で終わりとなります。4月から10ヶ月間一緒に過ごしてきたことで頼り頼られることが自然にできる関係を築くことができました。困っている子に声をかけてあげられる、助けてほしい時にすぐそばにいてくれる、そんな場面を目にするたびに、とても嬉しく温かい気持ちになりました。大好きなとちのき組での生活が終わってしまうのは寂しいですが、2月からはとちのき組で培った力を来年度に活かしていけるよう、それぞれ過ごしてほしいなと思います。たくさんのご理解ご協力ありがとうございました。(黒宮)



●くぬぎ組 **今月の目標** 進級に向けて生活習慣を見直しながら、同年齢(年中児)のお友達との関わりを楽しむ。

1月は他のクラスのお友達と一緒に活動をしたり、異年齢での時間を大切に1日1日過ごすことができました。うさぎぐみのお友達と関わる機会も多く、普段年中児や年長児の姿を見て過ごしている年少児が進んでうさぎぐみのお友達の手を引いて並んだり、遊びに誘ったりとお兄さん・お姉さんの姿になっており微笑ましく思いました。そして、約10ヶ月間“くぬぎぐみ”として33名で過ごしてきた、子どもたちはたくさん話し合い、お互いを助け合い、ひとまわりもふたまわりも成長したように感じます。年少児はできないことを年中児・年長児に自分から手伝ってほしいことを伝えられるようになり、年中児は年長児とお当番をするようになって任されたことに対する責任感を強く感じているよう思えます。年長児は自分のことだけでなく、周りのお友達を気遣う姿が増え、とても頼りになる存在です。2月からはそれぞれ就学・進級に向けて年齢別で過ごすことになるため異年齢で関わる機会が少なくなると思いますが、くぬぎぐみでの思い出を胸に楽しく過ごして欲しいなと思います。(倉田)



●さくら組 **今月の目標** 年長児として友達と過ごす楽しみや喜びを感じながら生活する。

先日ラキューでコマを組み立てて回していた時の事…年長児が回すコマよりも年中児が回すコマの方が力強く最後まで回り続けるのを見て「〇〇(年中)君、上手に回せるんだねえ！」と声をかけると、競っていた相手の年長児が「そうそう。どうしたらそんなに上手に回せるの？」と言いました。年下である相手の優れている所を、素直に受け入れる姿に感心しました。異年齢クラスというと、年上の子の方が何でもできるイメージがありますが、実際は年齢に関係なくそれぞれに得意な事や手慣れている事などもあり、それを子ども達が自然に受け入れられる環境なのだと感じました。1月は、春から共に過ごしてきた異年齢の仲間と生活をする、最後の月でした。この10か月間で子ども達は一緒に遊びながら時にはけんかをし、助け合い、力を合わせたりしながら絆を深めてきました。仲間を気にかけて、頼ったりしながらお互いの事を知り、自分の立ち位置を意識しながらみんなで一緒に成長できたのではないかと思います。(キム)

